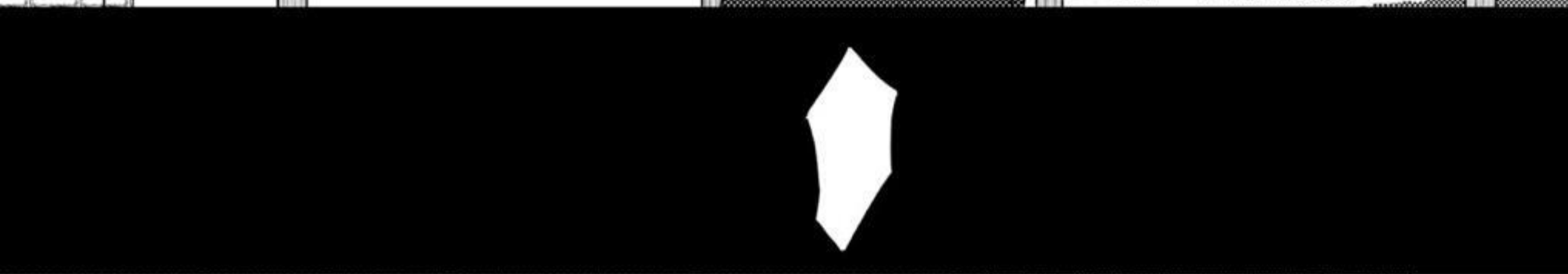




神さよの子





げんたろー!!
上がんぞー!!



オレが言うのも
なんだけど鍵は
かけたほうがいい…



げんたろー？

カッ…



神
た
ま
の
子



帝統ー
夕飯食べていくなら
食器出してください

幻太郎が



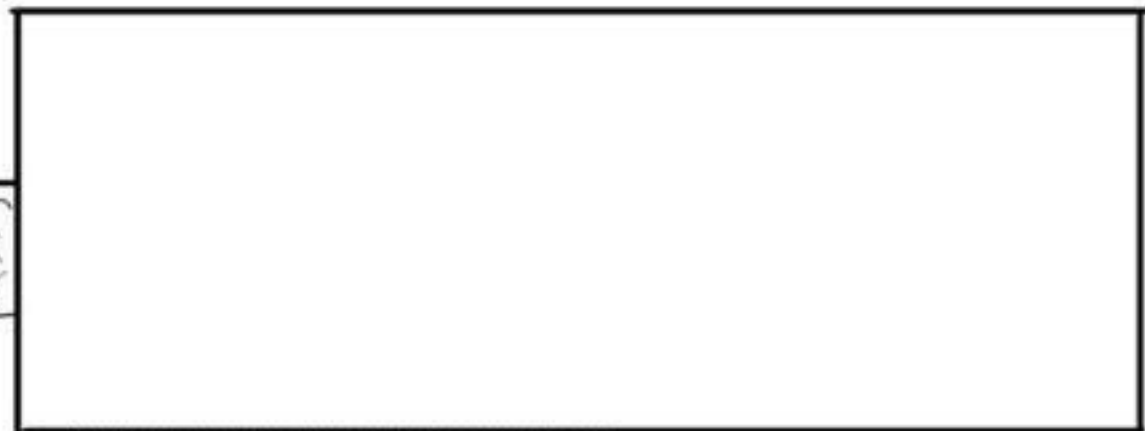
子守をしている

働かざる者
食うべからずですよー



びり...

びり...



いただきます

...いただきます



……
まあ、
そうですね
はあ!?
嘘ですよ……
も、もしかして
お前のガキか……?

……アレ
どうしたんだよ……
おや
何がですか?



貴方ほんと
懲りないですねえ
おめーがな
……捨てられていたんです
その公園に昨日ね



よくまあ
こんな赤ん坊を外に
置いていけるものだ
恐らくすぐに
発見できたので
よかったです



担当編集の奥様が
児童施設の方だったので
連れて行ったんですけど
今はどこも
手一杯だそうで
このご時世
男の子の捨て子が
後を絶たないと
聞きますしねえ……

……それで拾って
きちゃったのかよ……
唾



ちん...ちん...
...ん



すう

すう



来月は締切が
重なってるので
過労で死んで
しまうでおじや...



なんだが大変そう
だったので仕方なく
一か月だけ預かる
ことにしたんです



どうしてですか



...

ま
よかったわ
幻太郎の
ガキじゃなくて



お前がしてたら
俺もしてやるからなア

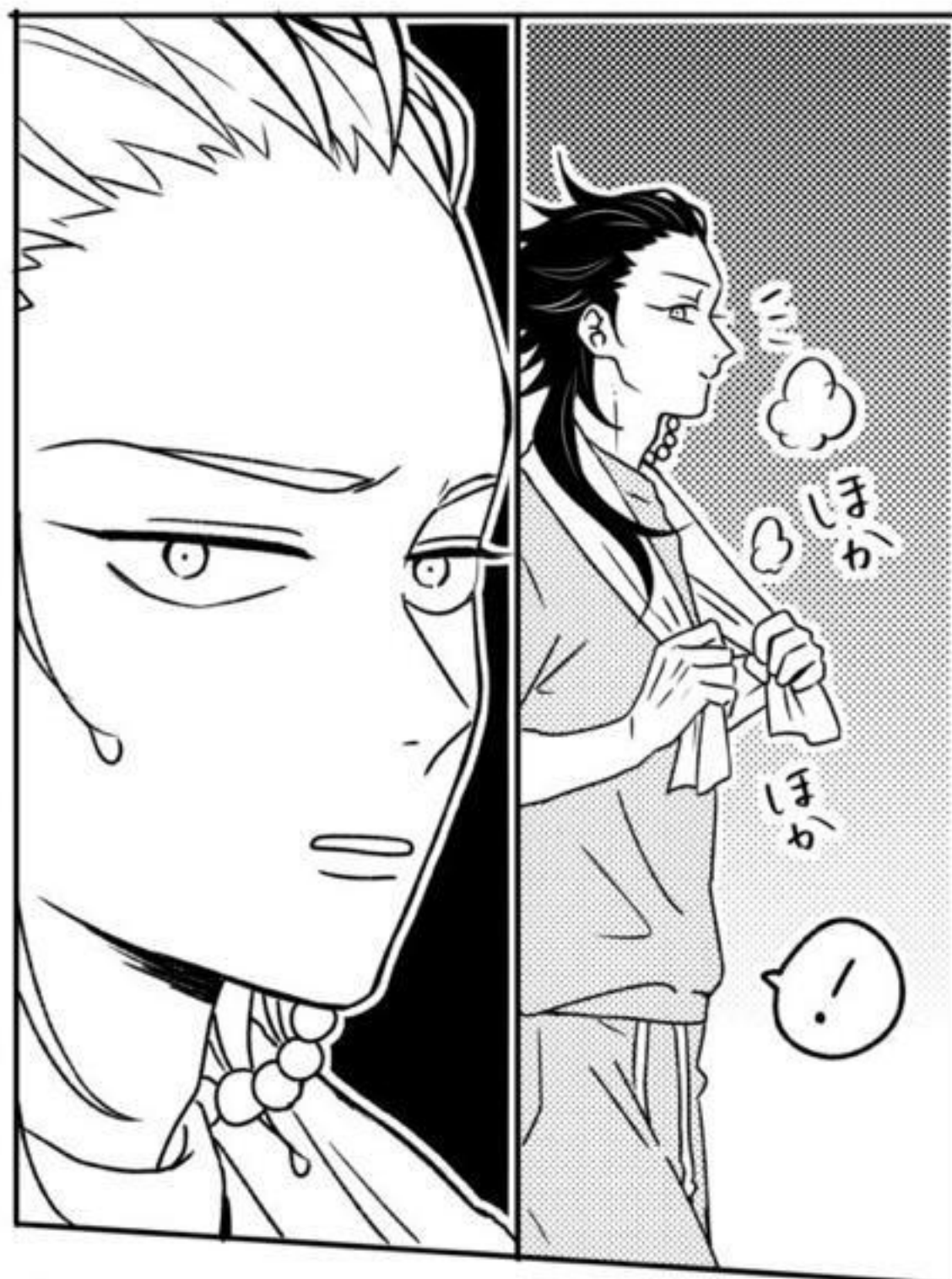


どうしてって...

浮気だろーが!!
うわき!!



どんな脅しですか



もともと面倒見の
いいヤツだし

はじめは色々
戸惑ってたけど



にしてもデレすぎ
じゃねえかとは
思ったが



賽の振り方
教えてんだ！
立派な
ギャンブラーに
なるかも
しれねーしよ

やめなさい

う

いつか俺と
ひりつく勝負
しようなっ！

やめなさい

あっ



お前も男なら
賽を握れ

そして振れ！

おっ！

やればできん
じゃねえか！

何をしている？

名前つけねえの？

なんかびみよーに
かわいそうっつーか…

普通に不便じゃね

いいんです

たった一か月だけ
なのに親ぶっても
仕方ないでしょう

まあ…
そういうもん？

初めてもらった名前も
それを呼ぶ声も
特別なものですから

いつか物心がついた
ときにこの子が親と
呼ぶ人につけてもらった
ほうが、ずっといい

幻太郎は
仕方なくと
言ってた割に

すげえ大切に、
丁寧に世話してた

俺はそんな幻太郎を
見るのがなんとなく
好きだった



えらく
ゴシューシンだな

ほぼ毎日うち来てる
じゃないですか



帝統こそ



ひとは小さいだけで
こんなにかわいく
なれるんですね

これは乱数も
かなわないな

そりゃ良かった



たしかに

存外
助かってますよ



この子は
とてもよく笑うから
なおさらですね

オレは別の生き物
見てるみてえで
ヘンな気持ちになる
よくわかんねえけど

不思議ですよ

こんなに小さくても
僕らと同じヒトの造り
をしているんだから

フワッ



こんなに小さな手で
何かをつかんで

小さな肺で
息をして

小さな体で
生きてる

毛ゆ

ちゃんと

生きてる…



すいすいや…

…

いやあゝゝゝ
にしても本当に
かわいい…

永遠に
触っていたい…

お前それ…

母性

じゃね…?

エツツ

これが世に聞く…

まあ妾本当は
女性なので♡

また訳わかんねえこと
言ってるなよ…

あ、帝統
鼻って叩くと高く
なるらしいですよ

どうしよう
結構強く
打ってしまった

今のままで
満足している
んだけどな

なんせ小生、
雪解けの雫
らしいですし

まあそんな絶大な
効果があったら
今ごろ全人類
ジョニーデッ

幻太郎

食ったら今日は
もう寝ろよ

今日は俺がメシ作っから
その間にフロ入ってこい
今沸かしてくっから

衣食住人の世話に
なってる奴が
偉そうに…

オウ!! 借りは
必ず返すぜ!

金を返せ





.....

あ...



君は幸福を
もたらす
神様の子
だったんですね

ありがたや...



あなたがやって
くれたんですか...?

てん!!!



こちらは今朝
届いたらしい
三種の神器の
一つ「ガラガラ」
にございます

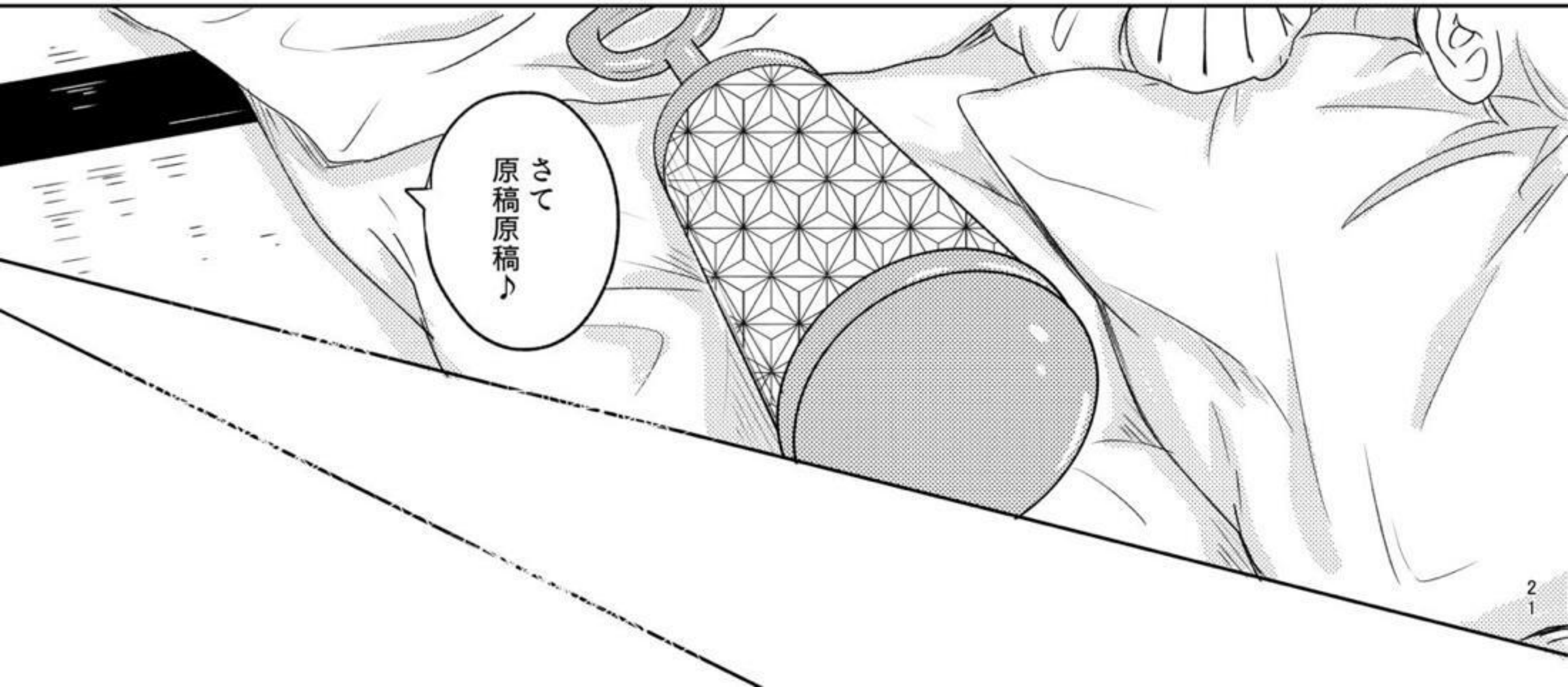
どうぞ
お納めください

グッズが
受け取った
↓

hamazon



ありがとう帝統



——昨日の夜

幸福を呼ぶ
神様の子の嘸を
したたろう

お前もね、
神様の子なんだよ

だって
お前が来てくれて

私らはこんなに幸せなんだから



おや帝統
いらっしやい

たでーまー

おじやまします
でしやう

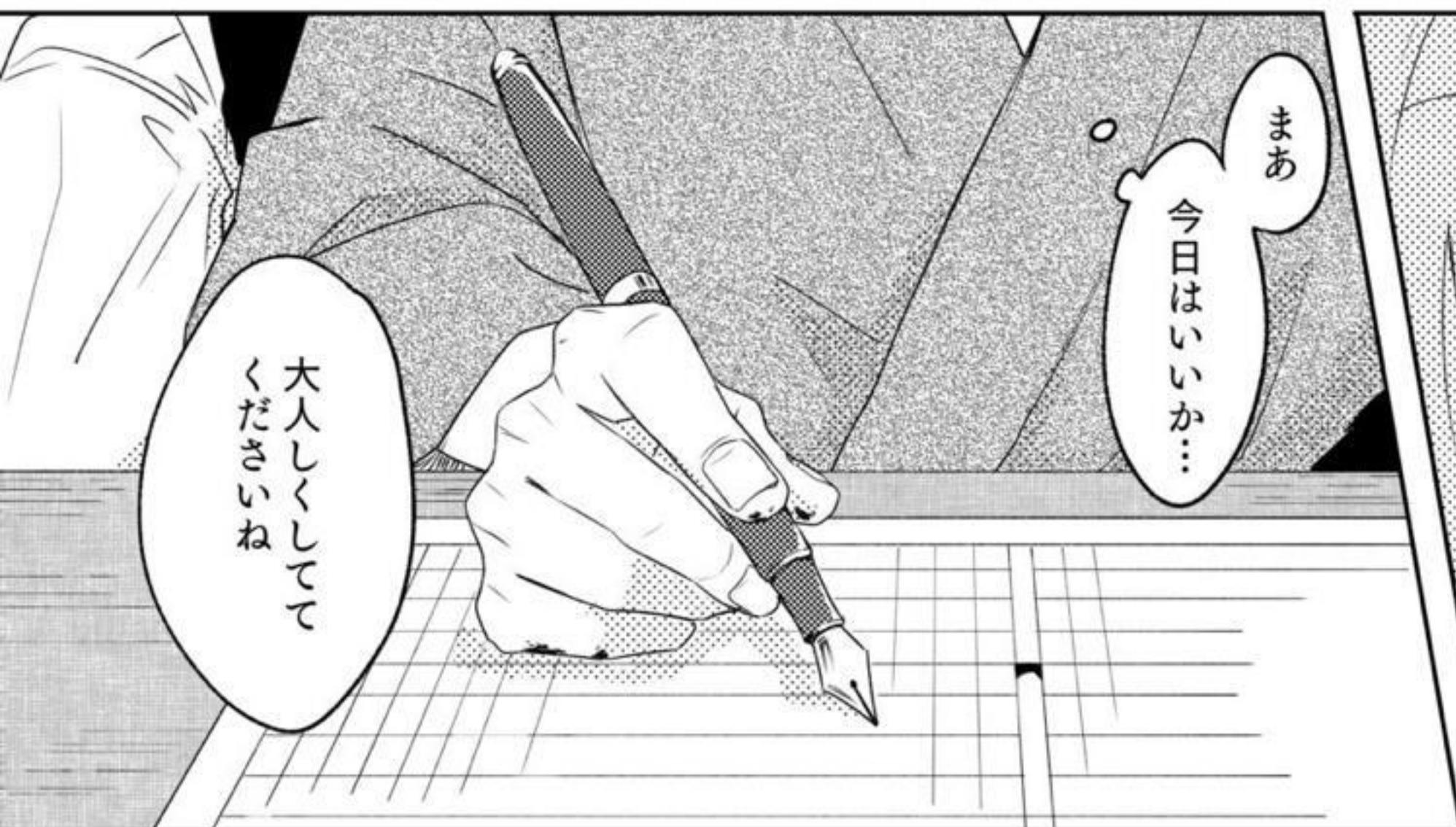


見ての通り小生
仕事中ですので
向こうにいつて
ください

えー

ちよんと
聞いているんですか

おー



まあ
今日はいいか...

大人しくしてて
くださいね











帝統



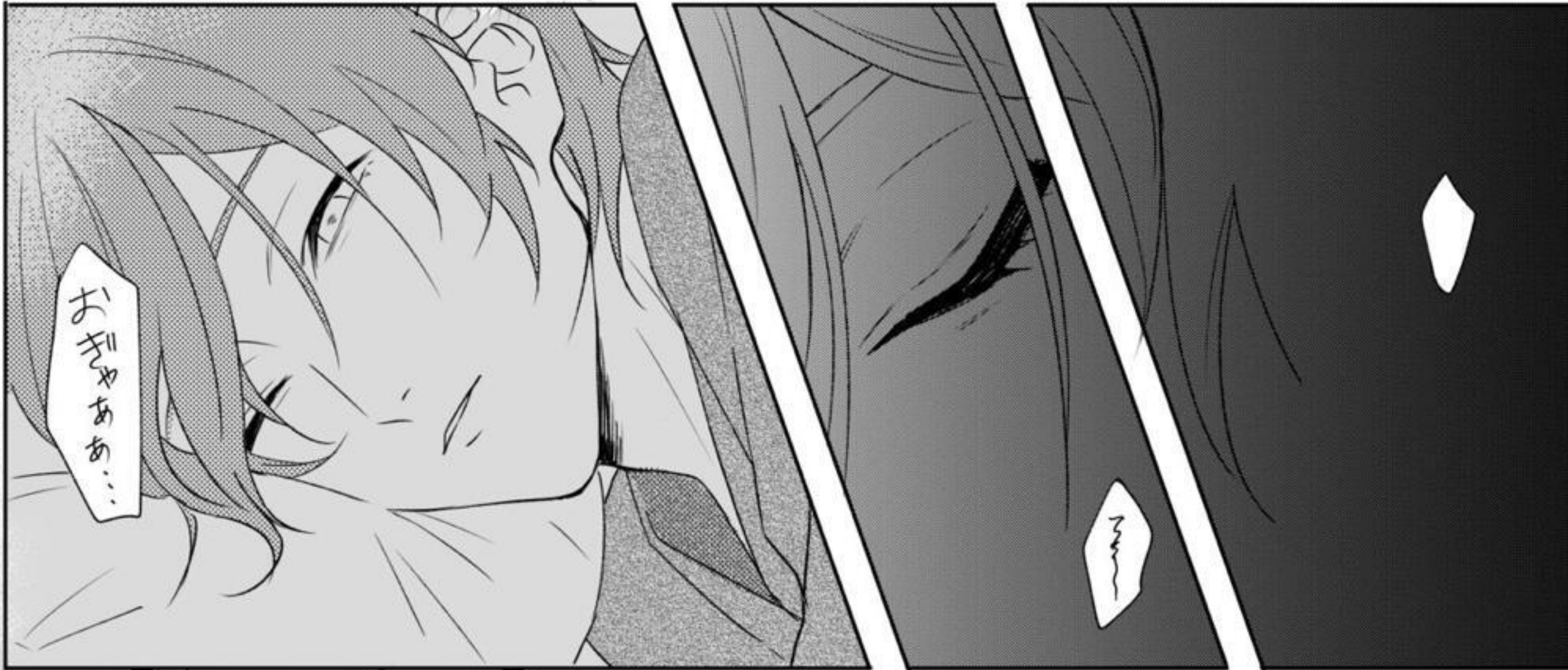
昨日は

ありがとう



これでしばらくは
メシに困んねえぜ！

クズ…





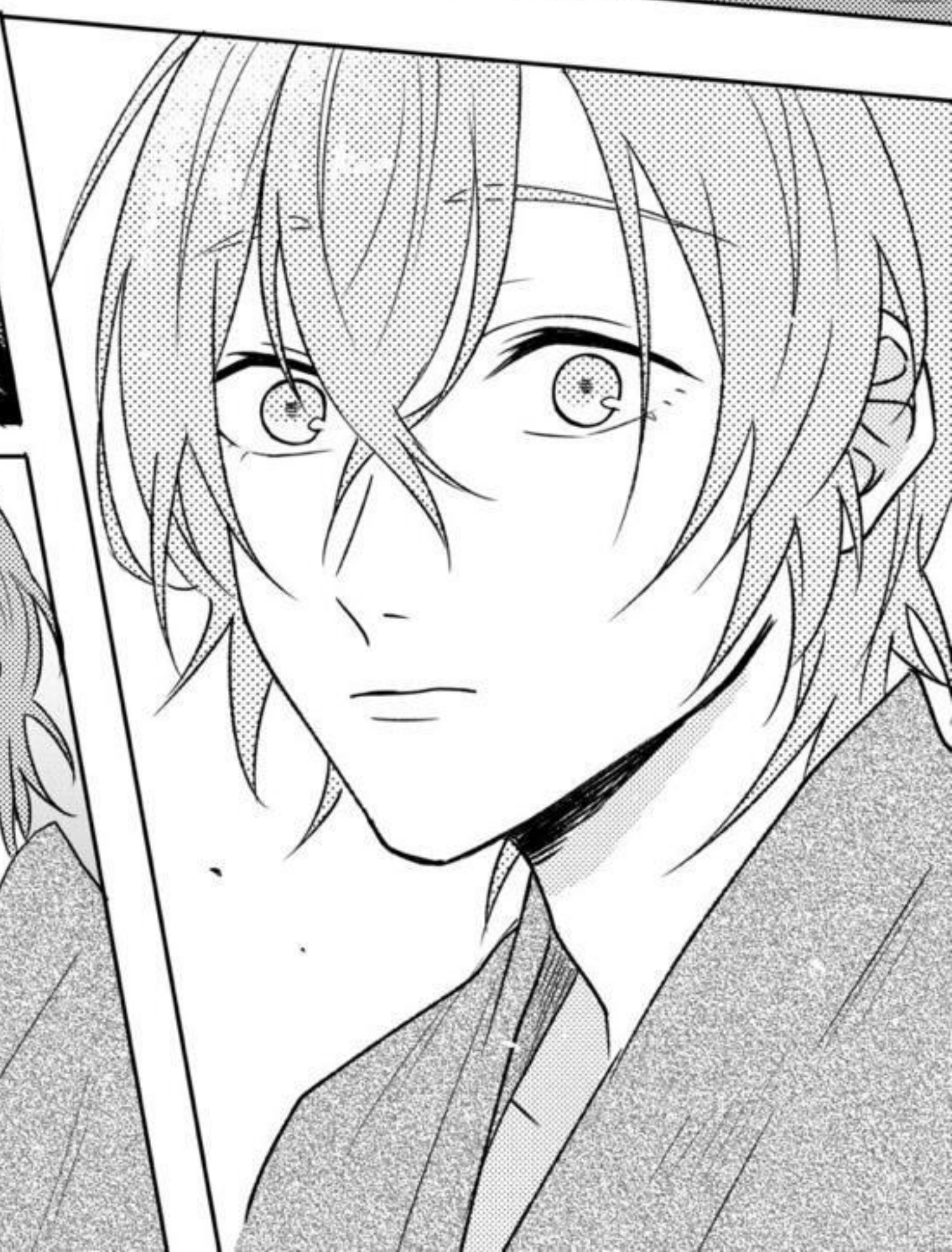






お前は優しいよ

怖えくらい



なんですか
急に

キレイに焼けたほうの
目玉焼きくれるし
おっきいほうの鮭
くれんだろ！



雨の日は絶対え
追い返さねーし

なんなら台風の日
探しに来てくれるし

お前はバスタオル
2回使ってから
洗うくせに

俺には毎回
新しいのを
寄こすし



夜中仕事の合間に
俺の布団掛け直しに
きてくれんだろ

幻太郎の
そういうとこ



普通にすげーな
って思うぜ

…お前は

すげえ愛されて
育ったんだな



34
わ
...

は...

...



は...

は...

カキ



カキ



ほ...

...寝めても、
なにも
出ないですけど...

幻太郎

カキ



カキ



カキ

ぎゅってしたい



こっち来て



お前はこうやって
人を愛すのかって思った



こうやっ
きたのか



いいな



いいな



お前の、
大きくて
深くて
重たい愛の

ほんの端っこだけ

俺にくれよ





…違うのに

こんな俺のことを
優しいと言う

キレイに焼けたほうの
目玉焼きくれるし
おっきいほうの
鮭くれんだろ

それは食に対して特に
こだわりがないだけで

それは単純に
帝統のほうから
ずっと食べるから

雨の日は絶対え
追い返さねーし

ずぶ濡れで来られたら
誰だってそうするわ

なんなら台風の日
探しに来てくれるし

だってあなた
天気予報
見ないでしょう

お前はバスタオル2回
使ってから洗うくせに
俺には毎回新しいのを
寄こすし

1回じゃもったいない
気がするから俺が勝手に
そうしてるだけで

君が特別
なんじゃない

夜中仕事の合間に
俺の布団掛け直しに
きてくれんだろ

気分転換とかお手洗いの
ほんのついで
何もなければ行きません



いつだって
俺の自己満足で
動いているのに

自分勝手な感情ばかりが
原動力なのに

それでも君は

——俺を
誰よりも優しい
と言う





月が明るいから
よく見えるし

外でっての
コーフンしねえ?

ダメ?

うん

あ...

ちよつと...
こころど?



ダメに決まってる
でしょう

ご近所さんに
見られたら
大変です

大丈夫だって
じーちゃんばーちゃん
ばっかなんだから
誰も起きてねーよ

適当なことを
言うな



お願い!!

ぬぬ...

たしかに...
たしかに?

やり〜!

じゃあ

まあ...



だって仕事部屋は
ダメなんだから!?!
じゃあ赤ん坊の
となりですか!?!

アホか...

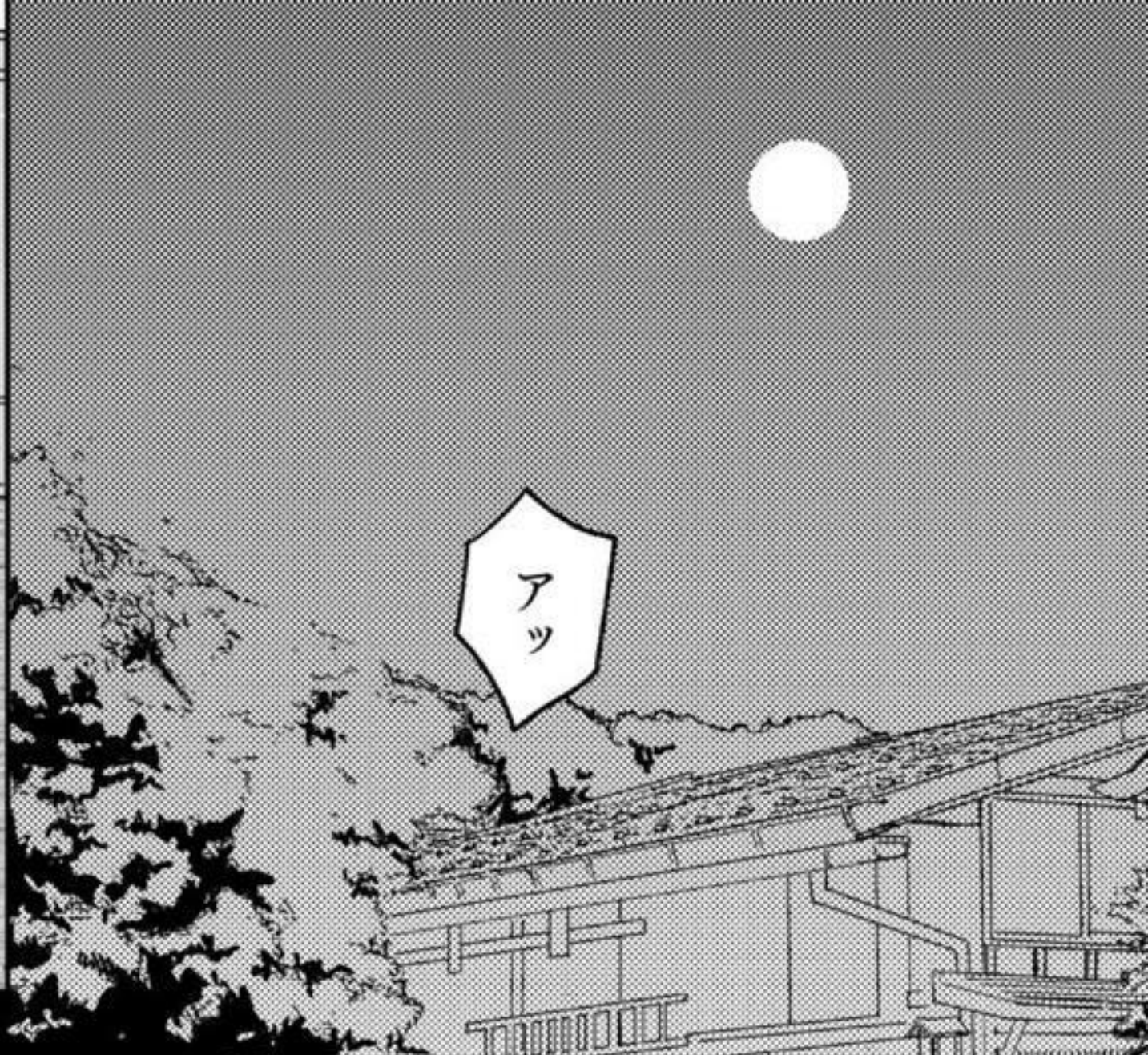
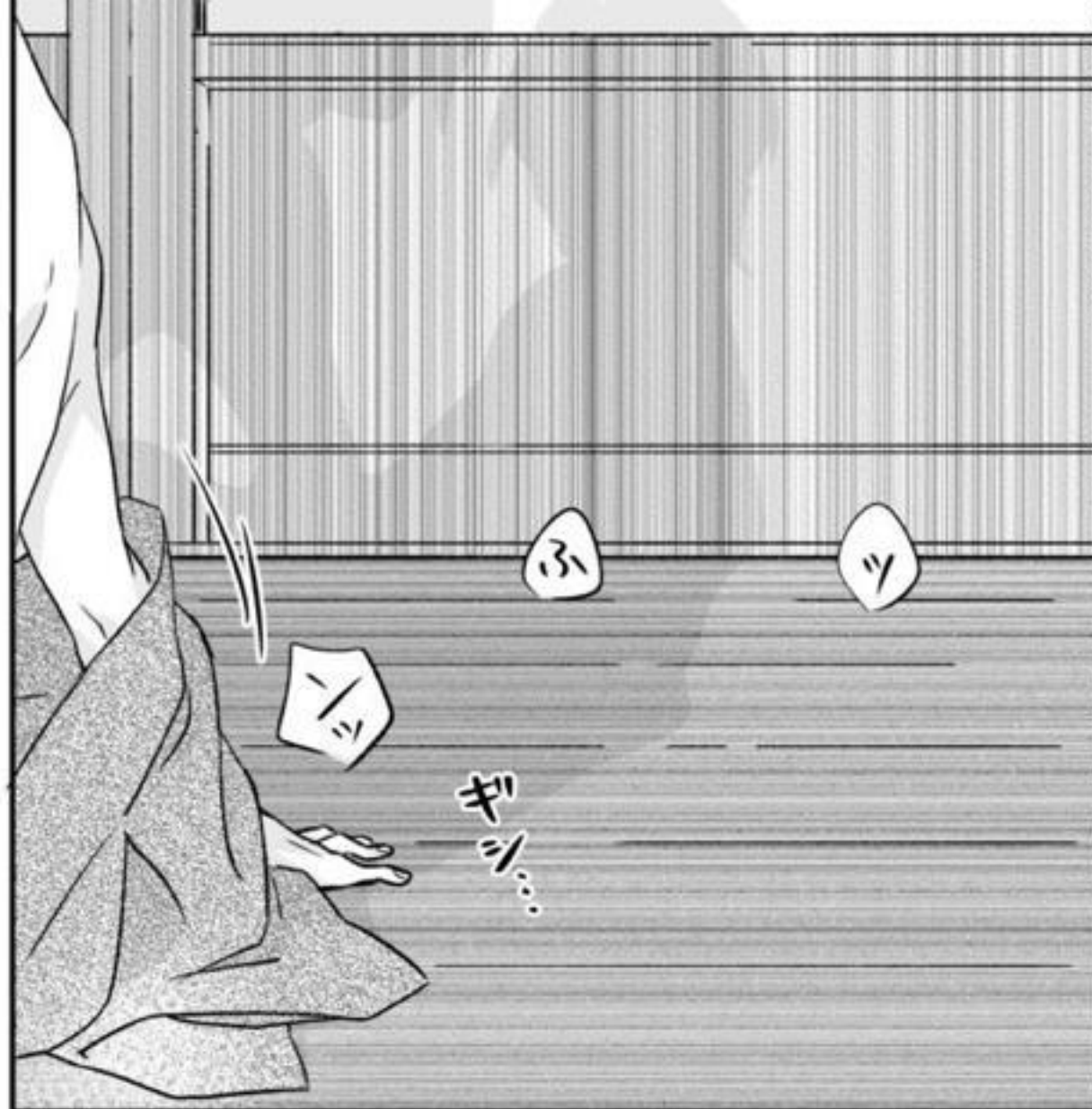
じゃあ
しょうがねーじゃん!

強気
こいつは
押せば落ちると
思っている

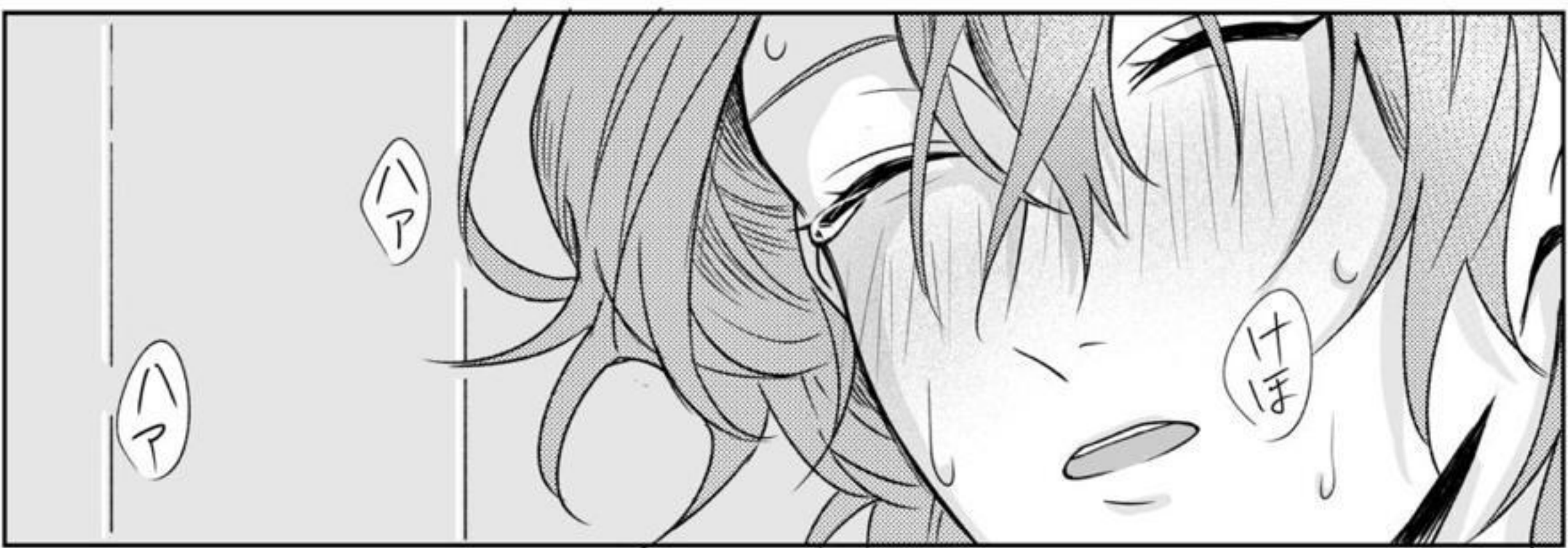
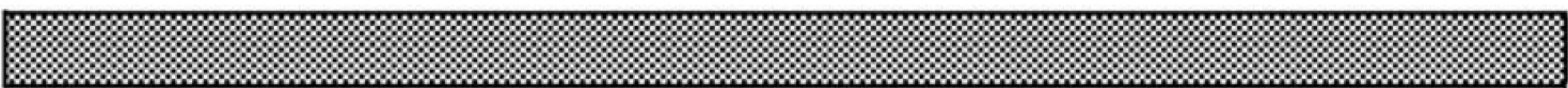
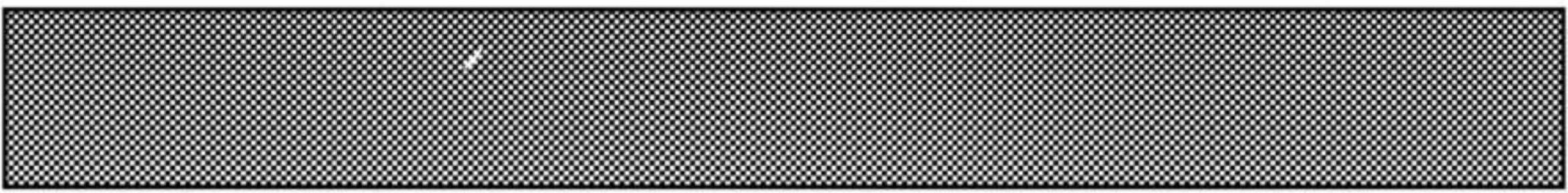
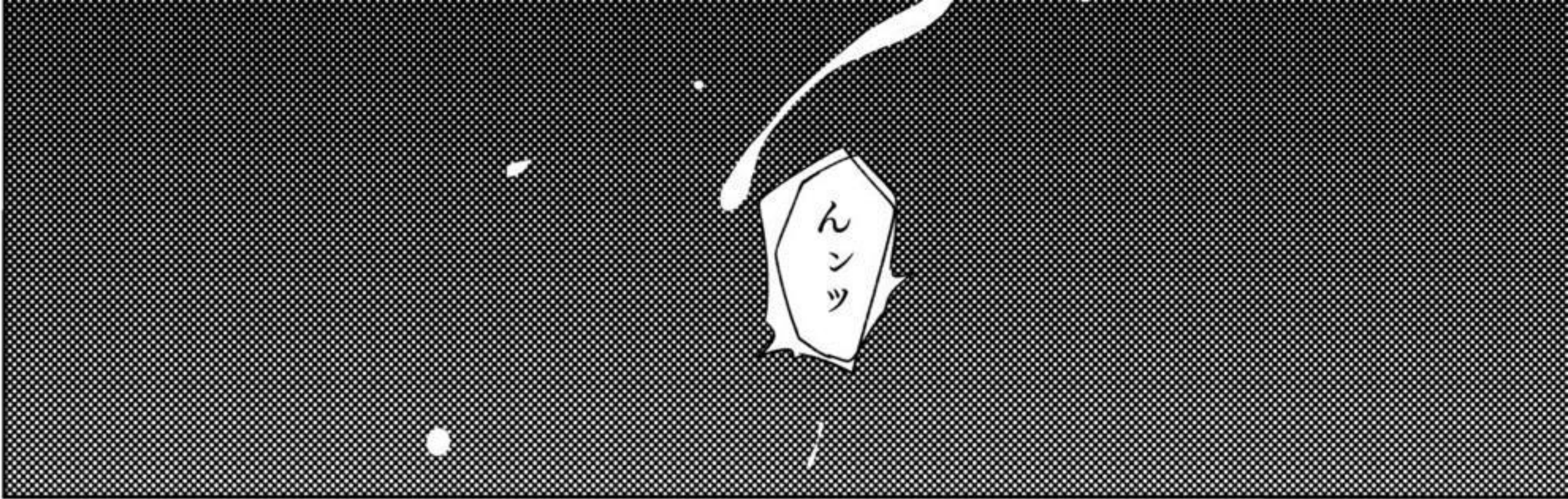




...痛えよ









ん~~~~~

満足しました？



まあ正直まだ全然やれっけど

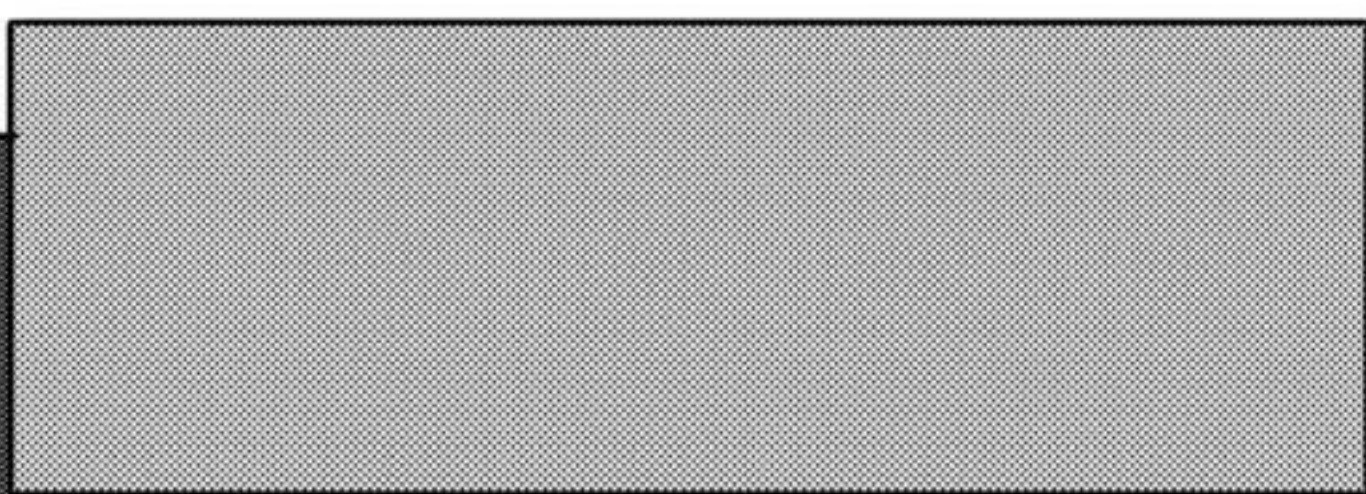
...



サイッコーだったぜ



若者の体力はおそろしいな



ねえ帝統



んー？

小生、捨て子
だったんですけど

急だな…
へえー

反応薄…

いや…
だったとしても
今更カンケー
なくねえか？

ハハッ
君らしいな



でも珍しいな
お前が自分のこと
話すの

特に隠しても
いませんし
傷ついてるわけ
でもないですしね
まあウソ
なんだけど

どれがだよ！



それでね
ずっと不思議
だったんです

捨て子は
ホント…

どうして父と母は
僕を家族にしてくれた
んだらうって



だって
いくら考えても
わからないんだ

どうして
拾ってくれたんだらう

育ててくれたんだらう



メリットなんて
少しもない

俺は
何のつながりもない
赤の他人で



——どうして



愛してくれただらう

サァ

なーんて

嘘ですけ

ど





一時的に
預かることは
できますか？

ゆ、夢野先生が
ですか!?

でも来月には
締切もありますし
お忙しいでしょう…



僕が

確かめたかった



…すみません

無理を言っ
ているのは…、
わかっている
のですが…

……



大丈夫です!

仕事は

きちんと
やります…っ

締切も

絶対に間に合わせ
ますので…



ではひと月だけ
手を借りても
いいかしら？



お願いしてみたら
どうかな

夢野先生は
信頼できる方だよ



必要なことを
一通り教えるので
どうぞ上がってください

はら……

確かめたかったんだ

他人を愛することなんて
できるのか

俺は
愛されていたのか

お前は

すげえ愛されて
育ったんだな



とある時代の名もない村で
ひとりの赤ん坊が生まれた

それ以降、

干ばつに疫病に地震、と
その村を苛んでいた災禍は
ぱったりとなくなった

村の人々はその赤ん坊を
神様の子として崇め
大切に、大切に育てた

とか、要約すると
そんな噂だったかな

どこにでもありそうな
故郷の言い伝え

それから父のでたらめ話のなかに、
その神様の子が村を飛び出して
世界を駆け巡り幸福を配る、
そんな冒険譚シリーズが加わった



お前もね、
神様の子なんだよ

—— お前が来てくれて

私らはこんな
幸せなんだから

……



そんなの
おかしいです…

…そんな幸せ
村を救うのと
つりあってない…

何を幸せとするかも、
その大きさを決めるのも
人それぞれだ

謙虚で
欲張りでないことは
お前のいいところだけれど

もっと望んでもいいんだよ

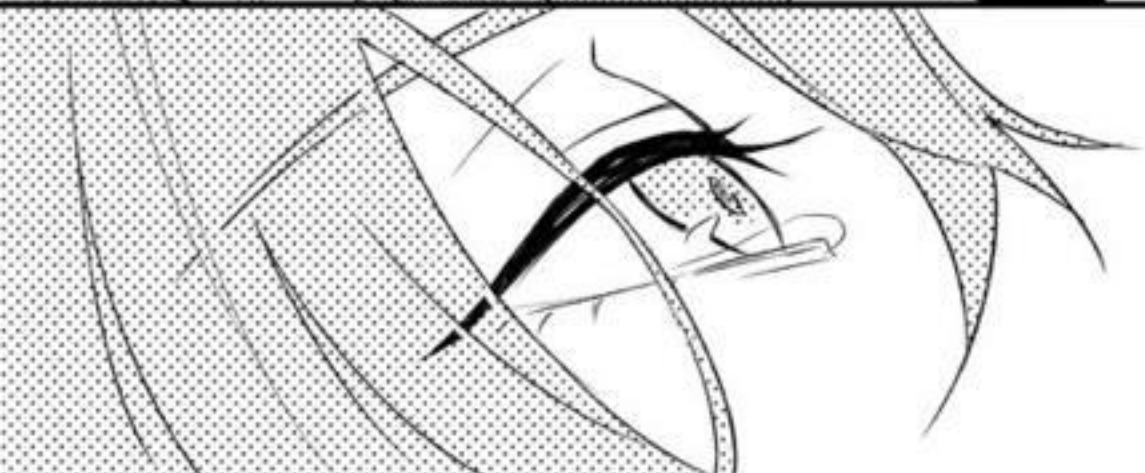
そうしたらお前の世界は



本当はきつと
疑ってなんて
いなかった

フン
フン

——
もっと面白くなる



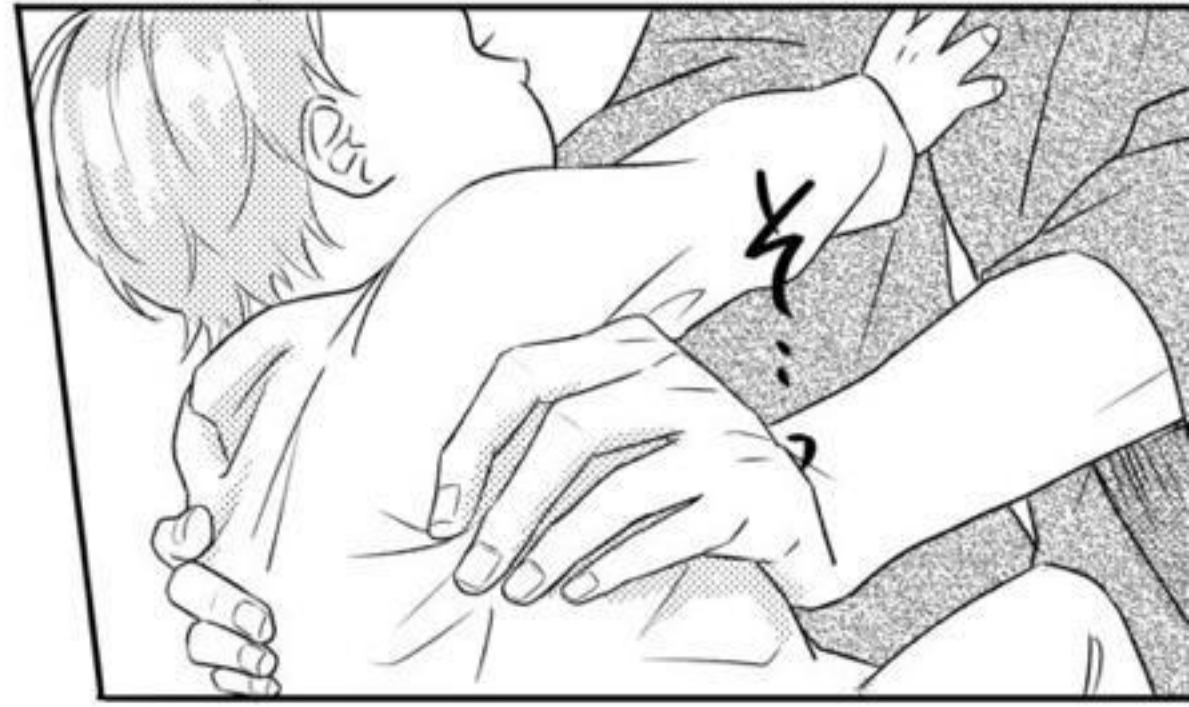
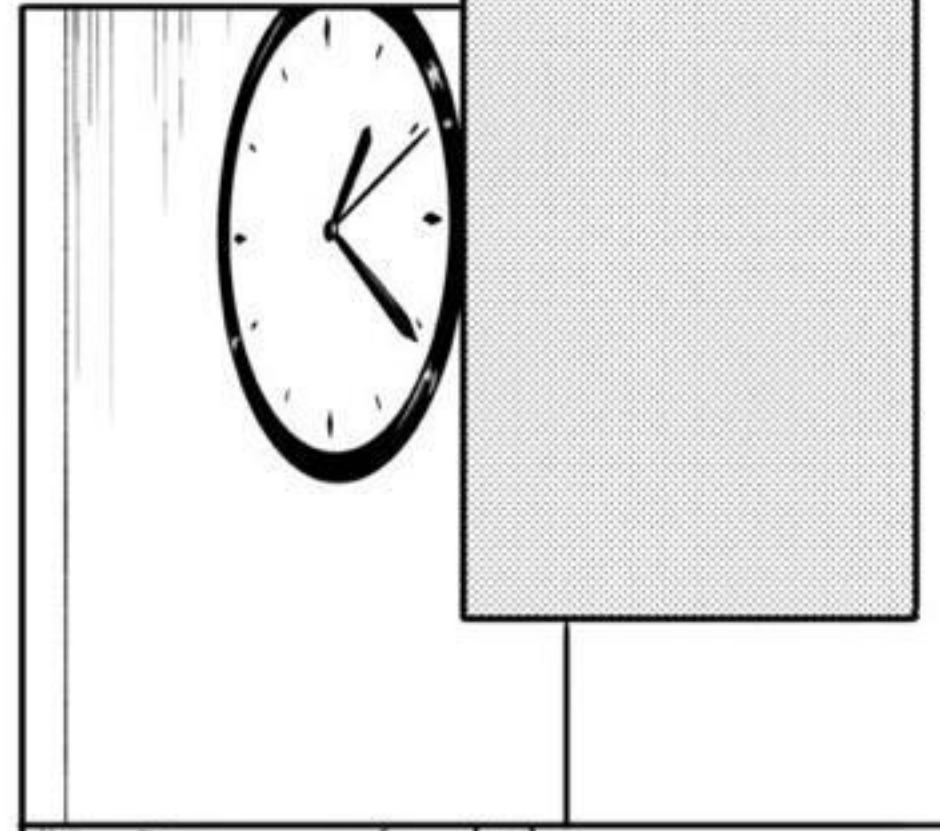
ゆめ…



他人を
愛せることも

帝統…

俺が確かに
愛されていたことも






生まれてくる場所は
選べません

この世に生れ落ちてすぐに
こんな不運にあって
すでに嫌気が
さしてしましうが


運がなかったと思って
諦めなさい






人生、山あり
谷ありです

幸運が続かない
のと同様に、
不運しか起きない
人生もまた
絶対にありません





僕らは
生まれる環境を
選べない代わりに

未来を選び取る
ことができる
生き物なので



何を捨てても
何を望んでもいい



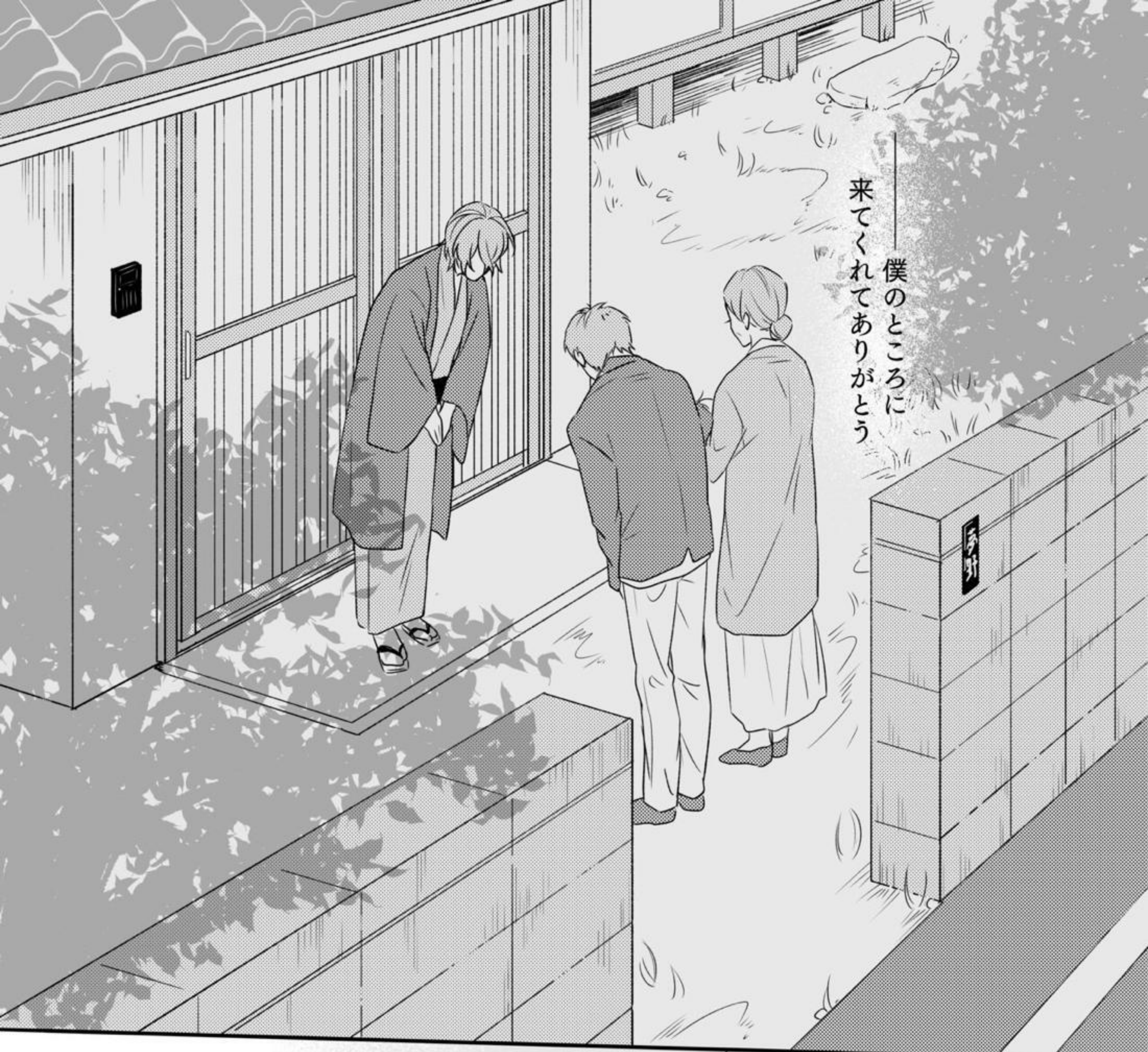
貴方の心のままに
自由に生きなさい



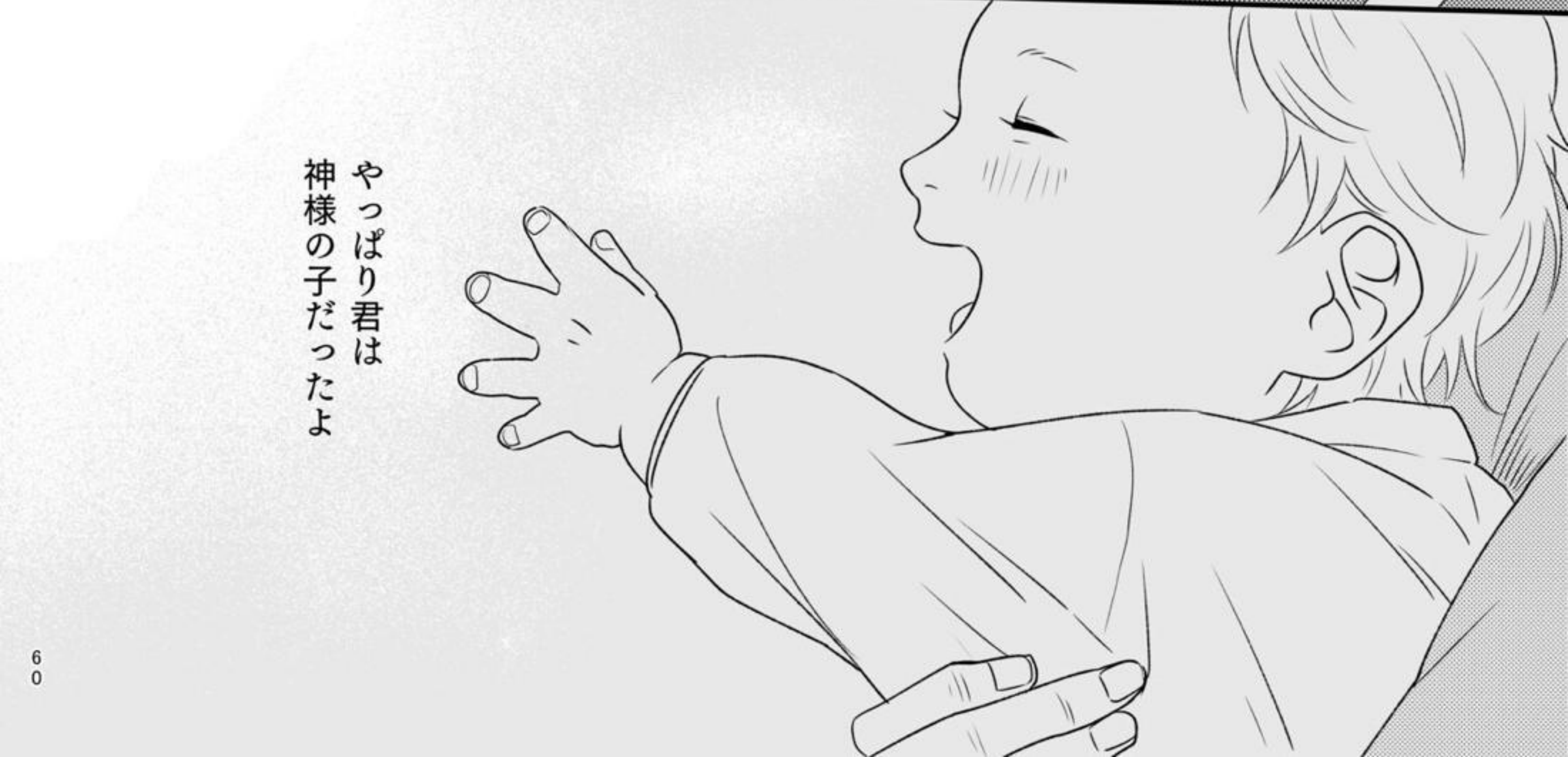
貴方が

貴方の愛する人生を
生きられますように





僕のところ
に来てくれてありがとう



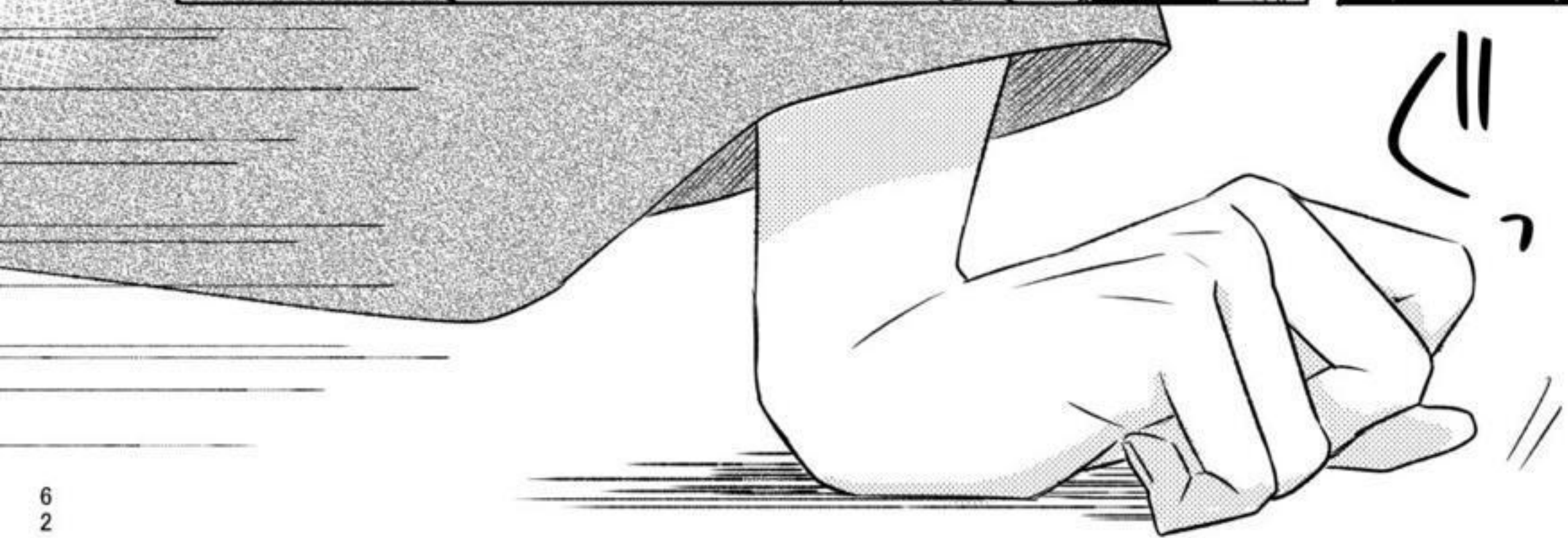
やっぱり君は
神様の子だったよ



貴方がいてくれて
良かった



これは
ウソじゃないです





帝統
デートしましょう♪

すいっ



オア…エ？
おう

メ切も乗り越えたし
パ——つと遊びましょう！

今日は全部
僕の奢りです！！

おっしゃ！！
どこまででも
ついていくぜっ！



もちろん
ウソだけどね♡